

令和元年度 永田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

南区は高齢化率の高い地域であり、北永田地区、永田みなみ台地区、南永田山王台地区も高齢者の多い地域になる。地域のほとんどが住宅地であり、長く定住されている方が多く、独り暮らし高齢者が増えてきている。各地区ともに地域活動は活発だが担い手不足が深刻化し、新たな担い手の確保が急務となっている。また、外国人居住者も増えてきており、生活環境が変化してきている。
 今後の方向性として高齢化が進んでいることから、地域ケア会議等で地域課題の解決を図り、認知症サポーター養成講座を継続して開催し、住みやすい環境づくりを構築する。また、担い手不足が深刻なため、地域に向けてボランティア活動を紹介し、新たな担い手を発掘し活動に繋げていく。外国人居住者に対しては、気軽に話し合える場を提供するためサロンの開設を検討する。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトや地区社協と共催し、認知症についての正しい知識や対応について普及活動を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議や協議体の充実を図り、福祉保健団体のほか民間企業やNPO法人など幅広い関係者の参加を求め、ネットワークの一層の拡大や強化を目指す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネ勉強会『やまさかネット』をケアプラザの施設協力医と協働して年6回開催し、医療関係者と連携が図れ、利用者中心とした支援が円滑に行われるよう関係を構築していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	職員全体会議や5職種会議などで情報を共有し、課題解決を図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の会合やお祭りに参加し、地域の方々へボランティア活動の紹介やシニアボランティアポイントの受講などを紹介する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和元年度永田地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>包括支援センターが要介護者等から相談を受け、居宅介護支援事業所を選択するにあたり、適切な情報提供をおこない当事者自身で選んでいただけるよう支援する。具体的には、『ハートページ』で情報提供を行い、多様な事業所から選んでいただく体制を整える。また、選択された事業所をカウントすることにより、大幅な偏りが発生しないようにチェックする。</p>	<p>事故防止策では、「横浜市地域ケアプラザ・事故防止の手引き」を職員がいつでも閲覧できる場所に置き意識向上に努める。また、「手引き」をテキストとして内部研修で活用し、事故の予防に努め、事故発生時には事故対応マニュアルに則り対応を行えるように備える。「防げる事故は起こさない」「事故は未然に防ぐ」を目的とし「ヒヤリハット報告書」を活用することでリスク管理を行いその防止に努める。</p> <p>事故発生時は、初動対応を正確かつ迅速に行い、関係機関に連絡、報告を義務づける。また、再発防止の為に「報告書」の作成を行い、職員全員に回覧する。通所介護では、事故防止の意識が向上するように月例の会議や毎日のミーティングで事故事例の検証や事故予防の啓発を行う。</p> <p>法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努める。個人情報のFAX送信時、郵送時には必ず二人体制でダブルチェックを行い、誤送付防止に努める。職員全体会議時に個人情報保護の取り扱いについての研修を行う。USBメモリは原則使用せず、特別に必要と認められる場合を除き(出前講座など)USBメモリの持ち出しをしないように徹底する。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業では、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立支援を促す。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。要支援1・2、総合事業対象者の利用者は毎月210件前後の担当を行っている。このうち70%程度を居宅介護支援事業所に委託する。	ケアプラン作成にあたっては、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立を支援する。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。 介護支援専門員常勤換算あたり1名の契約目標を介護・予防含めて39件とする。										
職員体制	地域包括支援センター職員が中心となり、総合事業対象者や要支援の認定を受けた利用者のニーズを把握し、介護予防サービスを適切に受けられるように計画策定及び支援を行う。地域包括支援センターが担当している利用者については、居宅介護支援事業と協力し3職種の仕事に影響が出ないように調整しながら対応する。 管理者 1名 保健師(看護師) 1名 主任ケアマネジャー 1名 社会福祉士 2名	管理者 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤) 介護支援専門員 2名(常勤兼務1名)										
利用者実績 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護
目標	通所介護では、『地域に必要とされるデイサービス』を目標に掲げ、安全で安心して利用できるデイサービスを目指す。利用者のニーズを十分に把握し、利用者一人一人に寄り添った支援を実践する。またサービスの質を向上させるため、定期的な職員研修を実施する。 安定した運営のために、新規利用者の継続的な確保、稼働率の向上を目指す。利用のキャンセルについてはその理由を分析し、利用者満足度の向上に努める。	住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう地域包括ケアシステムの一部を担うサービスを提供する。体操やレクリエーションを通じた機能訓練の充実や食事などの日常生活の支援を利用者の意向を踏まえ提供し、いつまでも健康で生活できるよう支援する。また、高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、地域での社会参加の機会を提供する。

実施体制	【実施日数】 週 7 日 【提供時間】 9:30 ~ 16:30 【定員】 40名	【実施日数】 週 7 日 【提供時間】 9:30 ~ 15:20 【定員】 40名										
実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ● 1割負担分 (要介護1) 692円 (要介護2) 816円 (要介護3) 947円 (要介護4) 1,076円 (要介護5) 1,205円 ●入浴介助加算 54円 ●サービス提供体制加算 I 2 13円 ●食費負担 750円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1割負担分 (要支援1) 1,766円 (要支援2) 3,872円 ●サービス提供体制加算 I 2 (要支援1) 52円 (要支援2) 103円 ●食費負担 750円 										
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 生活相談員 3名(常勤兼務3名) 看護職員 5名(非常勤兼務5名) 機能回復訓練指導員 5名(非常勤兼務5名) 介護職員 17名(常勤兼務3名、非常勤兼務14名) 調理職員 4名 運転手 6名 事務員 1名(常勤兼務1名)	管理者 1名(常勤兼務) 生活相談員 3名(常勤兼務3名) 看護職員 5名(非常勤兼務5名) 機能回復訓練指導員 5名(非常勤兼務5名) 介護職員 17名(常勤兼務3名、非常勤兼務14名) 調理職員 4名 運転手 6名 事務員 1名(常勤兼務1名)										
利用者実績(人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

令和元年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	
事業の性質 1 優先的に取り組みが求められる事業		

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	永田支えあい祭り	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりのため	実施内容: 地域で活動している福祉保健活動団体をPRする場として、ブース出店(食べ物、手芸、健康チェック、おもちゃ病院など)、プラスバンド演奏・ダンベル体操・認知症サポーター養成講座などをおこなう。祭りの運営については、実行委員会形式ですすめ、地域を主体にしておこなう。 実施回数: 1回 実施時期: 4月13日		
2	子育てサロンたんぽぽ	H14年	1 地域交流	3 乳幼児		2 ね 発展させる	未就園児とその保護者を対象にしたサロン。	ボランティアが子供達を見守り自由に遊べるスペースを提供。また月に1度、45分程度のお楽しみタイムを設ける。お楽しみタイムは、水遊びやクリスマス会など季節に合った遊びを楽しむ。近隣の永田保育園やさくらザウルスから講師に来ていただき協力してもらった場合もある。 実施回数: 22回 実施時期: 毎月第1木・第4水曜日		
3	永田囲碁・将棋クラブ	H16年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 地域住民の交流	実施内容: 大人向けの囲碁将棋クラブ 実施回数: 24回 実施時期: 第2・第3土曜日		
4	親子料理教室	H17年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 食育	実施内容: 未就学児の親子を対象に料理の楽しみを体験し、食の大切さを学ぶ。 実施回数: 2回 実施時期: 6月、11月を予定		
5	お楽しみ講座	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 誰もが気軽に参加できる講座を行う事で、普段ケアプラザを利用していない方に、ケアプラザを知ってもらう機会とする。	実施回数: 2回 実施時期: 7月、2月		
6	育児講座	H19年	1 地域交流	4 子ども	3	2 ね 発展させる	実施目的: 地域の子育て支援	実施内容: 健康相談、離乳食、他 実施回数: 2回 実施時期: 7月、2月		
7	障がい児支援企画「バオバブ」	H18年	1 地域交流	2 障害者		2 ね 発展させる	実施目的: 障害児の余暇支援活動。 対象者: 南区に在住の知的に障がいがある小学生と中学1年生。	実施回数: 数回		
8	障がい児支援企画「カフェ・スマイル」	H22年	1 地域交流	2 障害者		2 ね 発展させる	実施目的: 知的障害がある中高生および成人の居場所作り。 対象者: 南区に在住の知的に障がいがある中高生および成人	活動内容: ケアプラザで、プログラムは設けず、出入り自由に、好きな時に来て、過ごせる時間を過ごす。 実施回数: 1回 実施時期: 7月第4日曜日		
9	ボランティア交流会	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: ケアプラザで活動するボランティアの交流の場作り。	実施内容: 活動しているボランティアとの意見交換会。 実施回数: 2回 実施時期: 7月、3月を予定		
10	永田支えあいネットワーク	H15年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 日常生活圏域において、福祉保健活動を実施している団体、グループ、個人等の連携をはかり、それぞれの活動の推進とともに、「地域の中で支えあう」地域づくりを目指す。	実施内容: 毎回テーマを決め、そのテーマに沿った情報交換や意見交換を行っていく。 実施回数: 1回		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
11	味噌づくり講座	H22年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 地域の方の集いの場づくりと、「味噌づくり」を通して、子育て世代とシニア世代の交流を図る。	実施背景: これまでお楽しみ講座の中で培ってきた知見をすべてのサブコーディネーターが修得。サブコーディネーターが講師役となり、事業を実施する。 実施回数: 1回 実施時期: 1月～2月		
12	子どもの見守りボランティア講座	H29年	1 地域交流	5 地域	3	2 ね 発展させる	実施目的: 地域の活動においては、次世代を担う担い手の育成が急務となっていることから、新たなボランティアの担い手を発掘し、子育て支援の充実を図る。	実施内容: 保育ボランティアを養成する。 実施時期: 2回 実施時期: 7月～9月		
13	永田deはぐくむ わくわく教室	H29年	1 地域交流	4 子ども	3	1 り 優先的に取る	実施目的: 赤ちゃん学級(1歳未満の第1子など)の対象とならない、あるいは卒業した保護者を対象に、(保育園入園前)の保護者同士の交流と地域とのつながりづくりを目指す。	実施内容: 講義や実習を通し、親と子が楽しく学び、集う講座を開催する。保育付講座とし、前述の保育ボランティア養成講座を受講した方の活動の場としてスタートさせる。また、運営については、3地区の子育てサロンの担い手にも関わってもらい、お互いのサロンの情報交換の場としても機能させることが望ましい。 実施時期: 8回 実施時期: 10月～3月		
14	貸館利用団体交流会	H29年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: ケアプラザを利用する各団体が一堂に会し、情報共有を図るとともに、活動を促進し、地域福祉保健活動を推進する。	実施内容: 各団体会員に参加を促し、団体活動のPRや意見交換をおこなう。 年1回 実施時期: 未定		
15	子ども青少年向け講座	H30年	1 地域交流	4 子ども		2 ね 発展させる	実施目的: 小学校PTAと連携を図り、地域向けに講座を開催し、子どもの人権を守る、あるいは、暴力防止を考える機会とする。	実施内容: CAP(子どもへの暴力防止を目的とした人権教育プログラム)等の啓発講座を想定。 年1回 実施時期: 未定		
16	外国につながる方のある方交流事業	H29年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: 永田みなみ台地区には、外国につながる方がある方が多数暮らしている。接点を持つ事で、ニーズを把握し、地域で支えるきっかけづくりを目指す。また、実施にあたっては、近隣の高校(横浜国際高校)のニーズを取り入れながら、連携を図る。	実施内容: 地域の住民と当事者とか交流が図れるような講座(料理教室など)を開催する。 実施回数: 1回 実施時期: 未定		
17	年末大掃除大会	H29年	1 地域交流	5 地域		2 ね 発展させる	実施目的: ボランティアをする機会の提供と参加者間の交流を図る。	実施内容: 館内及び周辺道路の清掃と、掃除終了後に、茶話会を開催する。 実施回数: 1回 実施時期: 12月		
18	永田ビエンナーレ国際児童画巡回展	H30年	1 流地域交	4 子ども	5	2 ね 発展させる	実施目的: 南区在住の外国人は年々増えており、現在、横浜市で3番目に多い状況である。永田にも多数の外国人が住んでいることから、永田に住む地域の方に、絵画を通して、外国を紹介し、国際理解と国際交流を図る。また、各地での連携を認める機会とする。	実施内容: カナガワビエンナーレ国際児童画展の選外作品100作品が寄贈されることになった。その絵画を小学校、中学校、幼稚園などで掲示してもらい、一定期間絵画展を開催する。 実施回数: 年数回 実施時期: 5月以降		
19	地域のお祭り	H15年	1 流地域交	5 地域		2 ね 発展させる	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくりを図る。	実施内容: 地域の中で、ケアプラザのPRする場として、ブース出店。 実施回数: 年1回 実施時期: 10月		
20	地域の集いの場マップづくり	H28年	3 援体制整備 事業生活支	5 地域		2 ね 発展させる	これまで地域ケア会議や地区活動を通じて得られた情報をデジタルマップを使用し、地図上に整理する。	令和元年前期		
21	サロンづくりの支援	H28年	3 援体制整備 事業生活支	5 地域	1	2 ね 発展させる	各地区で個人・町内会単位で「サロンを立ち上げたい」という話を聞く。サロンの立ち上げが実現できるよう、支援をする。	通年		
22	生活支援に関するボランティア講座	H28年	3 援体制整備 事業生活支	5 地域		2 ね 発展させる	ちよこっとボランティアのきっかけになるボランティア講座を実施。現在、すでに地域で活動している方の参加も含め「ボランティア」とは何か、「生活支援」とは何かをイメージできるような講座を実施する。	3回シリーズ(下半期)		
23	認知症サポーター養成講座	H22年	(6 2と3) 共催	5 地域		2 ね 発展させる	地域交流CO、生活支援COと連携をはかり、地域における認知症普及啓発を行っていく。	地区社協、町内会、各老人会との共催することで認知症の普及啓発を地域に浸透させ、認知症になっても安心して生活できる町づくりを行う。 各地区で2～3回		
24	認知症キッズサポーター養成講座	H22年	(7 3と2と) 共催	4 子ども	3	2 ね 発展させる	成長途上にある子供たちに認知症のことについて正しく伝えることで、身近にいる認知症高齢者に対して優しい気持ちで向き合えるようにする。また実際に認知症高齢者に出会った場合どのような対応をしたら良いか、考えても	永田小、永田台小の5年生、永田中の3年生を対象とする講座の開催 各校1回		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
25	ケアマネジャー勉強会	H26年	2 包括	6 事業者		せ る ね 展 い さ	ケアマネネットワークに登録している地域のケアマネジャーの自主的な活動とする。	輪番制で担当事業所を決め内容は事例検討、疾病勉強などケアマネ業務に関するものを勉強していく。また協力医である雨永田診療所の水谷医師の協力をえてケアマネの医療に関する知識の向上につとめていく。		
26	民生委員とケアマネ交流会	H26年	2 包括	5 地域	6	せ る ね 展 い さ	民生委員とケアマネジャーの交流を通して「顔の見える関係」を構築する。	課題を共有し、各々の役割を十分に理解し地域支援に役立てる。 年に1回		
27	介護者サロン	H26年	2 包括	1 高齢者	5	せ る ね 展 い さ	介護にかかわる地域の方を対象に介護についての悩みなどを共有し介護に役立てる	ケアプラザを会場として、包括職員が話を聞く。 2ヶ月に1回		

令和元年度「永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	15,694,717		15,694,717		15,694,717	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料			0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他 (指定管理充充分)			0		0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500		3,587,500	
その他 (提案時控除 法人負担分)	644,074		644,074		644,074	
収入合計	19,926,291	0	19,926,291	0	19,926,291	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	0	11,313,000	
本俸	9,866,000		9,866,000	0	9,866,000	
社会保険料	1,247,000		1,247,000	0	1,247,000	
手当計			0	0	0	
健康診断費	80,000		80,000	0	80,000	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	120,000		120,000	0	120,000	
その他			0	0	0	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	0	1,358,000	
旅費	10,000		10,000	0	10,000	
消耗品費	250,000		250,000	0	250,000	
会議購い費	1,000		1,000	0	1,000	
印刷製本費	40,000		40,000	0	40,000	
通信費	300,000		300,000	0	300,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	264,000		264,000	0	264,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	1,000		1,000	0	1,000	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	168,000		168,000	0	168,000	
手数料	5,000		5,000	0	5,000	
地域協力費			0	0	0	
その他	299,000		299,000	0	299,000	
事業費	306,000	0	306,000	0	306,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	264,000		264,000	0	264,000	
管理費	6,044,251	0	6,044,251	0	6,044,251	
建築物・建築設備点検	300,000		300,000	0	300,000	
光熱水費	2,882,000	0	2,882,000	0	2,882,000	
電気料金	867,000		867,000	0	867,000	
ガス料金	719,000		719,000	0	719,000	
水道料金	1,296,000		1,296,000	0	1,296,000	
清掃費	300,000		300,000	0	300,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	0		0	0	0	
設備保全費	1,535,000	0	1,535,000	0	1,535,000	
空調衛生設備保守	410,000		410,000	0	410,000	
消防設備保守	100,000		100,000	0	100,000	
電気設備保守	440,000		440,000	0	440,000	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000	0	40,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	545,000		545,000	0	545,000	
共益費	178,000		178,000	0	178,000	
その他	375,251		375,251	0	375,251	
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	基本的に、この行は入力しません
消費税	905,040		905,040	0	905,040	
印紙税			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他 ()			0		0	基本的に、この行は入力しません
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分			0		0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分			0		0	基本的に、この行は入力しません
二一ス対応費			0		0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	19,926,291	0	19,926,291	0	19,926,291	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	137,000		137,000	0	137,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	137,000		137,000	0	137,000	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0		0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0		0	

令和元年度「永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	29,085,899		29,085,899		29,085,899	横浜市より
指定管理料（介護予防）	152,400		152,400		152,400	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,792,000		5,792,000		5,792,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	4,982,000		4,982,000		4,982,000	
収入合計	40,012,299	0	40,012,299	0	40,012,299	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	0	32,689,000	
本俸	27,627,000		27,627,000		27,627,000	
社会保険料	4,435,000		4,435,000		4,435,000	
手当計			0		0	
健康診断費	94,000		94,000		94,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	533,000		533,000		533,000	
その他			0		0	
事務費	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
旅費	21,000		21,000		21,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	290,000		290,000		290,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	4,000		4,000		4,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	35,000		35,000		35,000	
リース料	200,000		200,000		200,000	
手数料	5,000		5,000		5,000	
地域協力費			0		0	
その他	5,000		5,000		5,000	
事業費	1,193,000	0	1,193,000	0	1,193,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業（包括）	100,000		100,000		100,000	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当 事業（生活支援）	312,000		312,000		312,000	予算：指定額
管理費	4,830,299	0	4,830,299	0	4,830,299	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算：指定額
光熱水費	765,000	0	765,000	0	765,000	
電気料金	230,000		230,000	0	230,000	
ガス料金	191,000		191,000	0	191,000	
水道料金	344,000		344,000	0	344,000	
清掃費	330,000		330,000		330,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	500,000	0	500,000	0	500,000	
空調衛生設備保守	150,000		150,000		150,000	
消防設備保守	40,000		40,000		40,000	
電気設備保守	150,000		150,000		150,000	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000		40,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	120,000		120,000		120,000	
共益費	100,000		100,000		100,000	
その他	3,009,299		3,009,299		3,009,299	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	40,012,299	0	40,012,299	0	40,012,299	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0		0		0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0		0	自主事業経費
自主事業収支	0		0		0	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

令和元年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 永田地域ケアプラザ

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8,158		8,158	6,788		6,788	15,410		15,410	83,598		83,598	9,146		9,146
	その他		0	0	0	0	0	193	0	193	10,314	0	10,314	1,395	0	1,395
	事業・負担金収入			0	0	0	0	0		0	15		15	0		0
	雑収入			0	0	0	0	0		0	0		0	0		0
	職員給食費収入			0	0	0	0	0		0	252		252	0		0
	利用者等利用料収入			0	0	0	0	0		0	6,459		6,459	1,395		1,395
	受託収入			0	0	0	0	193		193	0		0	0		0
	その他			0	0	0	0	0		0	3,588		3,588	0		0
	収入合計(A)	8,158	0	8,158	6,788	0	6,788	15,603	0	15,603	93,912	0	93,912	10,541	0	10,541
	支出	人件費			0	0		0	18,552		18,552	59,882		59,882	0	
事務費				0	0		0	1,821		1,821	5,092		5,092	0		0
事業費				0	0		0	47		47	9,227		9,227	0		0
管理費				0	0		0	0		0	12,969		12,969	0		0
その他		7,119	0	7,119	5,915	0	5,915	0	0	0	3,840	0	3,840	0	0	0
利用者負担軽減額				0	0		0	0		0	0		0	0		0
消費税				0	0		0	0		0	0		0	0		0
介護予防プラン委託料				0	0		0	0		0	0		0	0		0
施設使用料相当額				0	0		0	0		0	3,588		3,588	0		0
職員給食費				0	0		0	0		0	252		252	0		0
原案作成委託料		7,119		7,119	5,915		5,915	0		0	0		0	0		0
その他			0	0		0	0		0			0	0		0	
支出合計(B)	7,119	0	7,119	5,915	0	5,915	20,420	0	20,420	91,010	0	91,010	0	0	0	
収支 (A) - (B)	1,039	0	1,039	873	0	873	-4,817	0	-4,817	2,902	0	2,902	10,541	0	10,541	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。